

# HANEDA

Tokyo  
International  
Airport



News Release

2022年3月8日  
日本空港ビルデング株式会社

## 【両備バス】路線バス車内に スマホ充電器レンタル「ChargeSPOT」を全国初設置（実証実験）



日本空港ビルデング株式会社（以下、日本空港ビルデング）、両備ホールディングス株式会社（以下、両備）および株式会社 INFORICH（以下、INFORICH）の3社は、2022年3月8日から、両備の社内カンパニーである両備バスカンパニーが運行する路線バス車内において、INFORICHが提供するモバイルバッテリーレンタルサービス「ChargeSPOT」を全国で初めて路線バスに搭載する実証実験を開始します。

日本空港ビルデングは2020年8月に羽田空港のシェアリングサービスとしてChargeSPOTの設置を契機にINFORICHと代理店契約を締結。今後も公共交通機関等へのChargeSPOTの設置拡大を推進し、出張や旅行の際に必需品となっているスマートフォンを便利に使用できる環境を提供していきます。

本実証実験を通し、路線バスにおける新たなサービスの提供や利便性の向上に努めるとともに、「ChargeSPOT」のデジタルサイネージを車内広告として活用するなど、「ChargeSPOT」のさらなる需要創出および空港と公共交通機関、観光施設等との連携に向けて、一層の加速を目指します。

### 【サービス概要】

- サービス開始：2022年3月8日（火）
- 実証実験期間：2022年3月8日（火）～2022年12月31日（土）
- 対象路線：両備バス 18台（西大寺営業所 11台、倉敷営業所 5台、玉野営業所 2台）
  - ※設置対象のバスは、バスロケーションシステム「岡山 Bus-Vision」にて検索いただけます。
- 内容：専用アプリから近くのバッテリースタンドを探してバッテリー（最大168時間）を借り、全国各地の別のバッテリースタンドに返却することができます。また「ChargeSPOT」の専用アプリに加え、「LINE」「PayPay」などの各種対応アプリからもサービスを利用することが可能です。2018年4月のローンチからわずか1年で日本全国47都道府県に広がり、グローバルでも香港、タイ、台湾とエリアを拡大中です。



## ■ご利用方法



## STEP 1

専用アプリをインストールして  
情報を登録



## STEP 2

お近くのレンタルスポットを探して  
GO!



## STEP 3

QRコードをかざすだけで、  
バッテリーをレンタル可能



## STEP 4

自由に移動して最寄りのスポット  
で返却できます。

- (1) アプリをダウンロードし、アカウント登録をします。
- (2) アプリでバッテリースタンドの場所を検索し、ご利用になるバッテリースタンドへ向かいます。
- (3) バッテリースタンドに表示されている QR コードを読み取ります。バッテリースタンドのスロットからモバイルバッテリーを取り出し、対応するケーブルを接続し充電を開始します。
- (4) 返却の際は、最寄りのバッテリースタンドを検索し、空きスロットにモバイルバッテリーを差し込み、利用時間が表示されたら返却完了となります。

サービス説明動画：<https://www.youtube.com/watch?v=sLTI3a7gzFU>

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルデング株式会社 事業開発推進本部 事業開発部 事業開発課

TEL:03-5757-8098 9:00-17:30 (土日祝除く)